



海水浴、楽しかった！（カンボジア孤児院）

皆さまの御支援、心から感謝申し上げます。

8月の中旬、私共の理事数名を含むメンバーが、カンボジア孤児院へ行ってきました。今回は、子供たちと交わる機会として、すき焼きパーティーや、海水浴等が企画され、子供たちは多いに喜んでいました。

特に、海水浴からの帰りのバスの中は、それは大変な賑わいだったそうです。

ある理事は、子供たちが孤児院に来た時の表情を思い起こしつつ、今は子供たちが心から笑えるようになったことを、本当に喜んだそうです。

私もその話を聞き、本当に喜びました。そして、この働きの使命の大きさを再確認させられました。それゆえ、さらに、一人でも多くの孤児を助けたい、そう思うばかりです。しかしそのためには、やはり皆さま方のお力が何より必要であります。ザンビアやフィリピンの孤児院の必要も増すばかりであります。

学校の費用や運営費など、本当に必要なものばかりです。

もちろん、カンボジア孤児院も例外ではありません。どうかこれからも皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。8月中旬に、礎の石孤児院の秋元理事さんはじめ、20人の皆さんが訪問して下さいました。日頃たくさん食べる機会のないお肉をたくさん食べることが出来るようにと「すき焼きパーティー」を企画して下さい、子ども達は、生まれて初めてすき焼きを食べ、お腹いっぱい肉を食べる事が出来て大喜びでした。また1年に1回遠出をして行く海水浴にも、皆さんと一緒に行く事が出来、当日はお天気にも恵まれて、子ども達は、皆さんとともに楽しく過ごしました。それと共に、日本からのたくさんのご支援の品々も持って来て下さり、本当にありがとうございました。また、名古屋のNPO団体「ACHAN」の皆さんが今年も訪問して下さい、恒例の日本のカレーを作って一緒に食べながら、皆さんとの楽しいひと時を過ごすことが出来ました。これ



子どもたち、たくさんお肉を食べてます！

から大学に進む子ども達の住居となる、第2孤児院の為のご支援も頂き、心から感謝しています。最後になりましたが、高校を受験した5人の子ども達は、全員合格という嬉しい結果でした。高校卒業試験の結果は9月中旬の予定(9/10現在)です。これまでの皆様のご支援とご協力に心から感謝申し上げます。また、子ども達のこれからの新しい歩みの為に継続したご支援をどうぞよろしくお願い致します。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の尊いご支援をいつもありがとうございます。この夏、タクナンにある第二孤児院建設予定地では、甘くて美味しいランゾン（ライチに似た果物）やバナナ、マラング（ドリアンに似た果物）をたくさん収穫することが出来ました。

先日学費の一部を支払い、必要な学用品を買うことが出来ました。皆様のご支援があつてこそ、私たちは働きを続けて行くことが出来ます。本当にありがとうございます。引き続き皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

Carmelita, 15 y.o came from Laak, COMVAL Province. They were Pablo typhoon victim, December 2012.
Her father died due to heart failure last June 26, 2014.



写真はカメリタちゃん 15 歳！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)? 皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。ザンビアはまだ夜の冷え込みが厳しい日々が続いています。毎日8時間程の停電も継続中で、不自由も多いのですが、元気に乗り越えています!



ランドセルを背負うフィデリス!

フィデリスとテリースは来月から始まる高校最終試験に向けて、にわかに緊張した日々を送っているようです。口数が減り、部屋にこもって勉強する事が多くなりました。フィデリスは弁護士になるという信念を、小さい時から変わることなく持ち続けてきました。自身が孤児として生きてきて、社会から見捨てられた、苦しみの中にいる人々の、“声なき声”の代弁者になりたいと、強く願っています。法科大学での一年間で、約70万円が必要になります。どうか皆様のご理解と、ご協力を、心から宜しくお願い致します。また、同じく高校卒業を控えるテリースは、電気技師になる希望を持っています。進学する場合は、年間40万円の必要がありますので、合わせてご支援をお願い申し上げます。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。9月3日にブラジルに戻ってまいりました。今回は疲れを感じることなく、体調も良好です。一時帰国の時には、皆様にとっても良くしていただいて、良い思い出をたくさんいただきました。久



東京事務局で作業をしている松本さん!

しぶりにニュースレターの発送作業やチャリティコンサートでのビラ配りなどにも参加する機会があり、スタッフの皆様が生き生きと活動しておられる姿をこの目で見る事ができて、励まされました。健康診断や各種がん検診も、今まで結果が出たものについては、すべて異常なしでした。健康で皆様に支えられて活動ができることを心から感謝しております。これからもご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>